第1号議案　令和元年度　活動報告

1．1　各委員会の活動報告及び次年度計画

総務委員会	(委員長)平野輝美　(副委員長)二川真士　(委員)渋谷貞雄

▸総会・役員会
定時総会および役員会(奇数月)を開催支援しました.
▸例会
月例会議(PPM)(および運営会議・SIG連絡会議等)を開催支援しました.
▸会員入会・退会管理
会員入会・退会管理を行いました. 関連して会員名簿と送付名簿を整備します.
▸顧客台帳の整備
昨年度に継続して, 様々な活動で得た顧客台帳を整備しました. 但し, 活用不十分.
▸文書を整備
東京技術士会書式一式を制定し, アップデートしました(継続する).
▸マイナンバー, コンプライアンス等の制定, および教育について各委員会を支援しました.
▸産業交流展への出展
産業交流展2019に出展しました. 支援を行いました.
▸その他
東京技術士会の円滑な活動に必要な諸事を支援いたします.

＜次年度計画＞
▸総会・役員会
定時総会等, 定時役員会等を開催支援します.
▸例会
月例会議(PPM)(および運営会議)を開催支援します.
▸顧客台帳の整備
昨年度に継続して, 様々な活動で得た顧客台帳を整備します. また積極的に活用する手段・方法を策定いたします.
▸文書を整備
東京技術士会書式一式を制定し, アップデートします.
▸マイナンバー, コンプライアンス等の制定, および教育について各委員会を支援します.
▸産業交流展への出展
産業交流展2020に出展し, その支援を行います.
▸会員入会・退会処理　入会・退会処理を行います. 関連して会員名簿と送付名簿を整備します.
▸その他
東京技術士会の円滑な活動に必要な諸事を支援いたします.
▸委員拡充
総務委員を拡充します.

財務委員会	(委員長)進藤秀明　(副委員長)小峰史郎

＜本年度活動報告＞
1.　財務委員会体制
　　渡邊委員が理事を退任したため財務委員会が 2 人体制になった
2.　消費税
　　消費税納入業者となり、消費税を納入した。
3.　10 周年記念関連
　　10 周年記念行事の費用を計上した。

＜次年度計画＞
1.　会計ソフトの運用効率化
　　項目の見直し・統合等
2.　振込手数料の削減

3. オンライン会議費用の予算化
4. オンラインバンクの導入検討

事業委員会	(委員長)小佐野市男　　(副委員長)　山戸佐知男

＜本年度活動報告＞

◆勉強会の開催

・SIG 合同連絡会議の後半時間に勉強会を開催。会員の実務経験・特殊技能等に係るテーマ11について実施。詳細は以下のとおり。

実施月	テーマ	講師
4	カーナビ地図の現状と今後	山戸佐知男
6	関わった業務(高速信号路設計等)と現在の業務状況	前島　満
7	地質技術者から見た建設構造物	江藤　政継
8	航空機構造設計思想の変遷	平岡　康一
9	コンプライアンス及びCPD登録について	大野　知彦
10	次世代半導体とその鉄道応用	山本　肇
11	人生の後半を面白く楽しく過ごすための 50 歳から始める開業準備	大柳　規幸
12	認定支援機関としての活動WG報告	佐藤　儀一
1	製品事故は何故なくならないのか	川上　忠宏
2	金属組織分析と事例紹介	福崎　昌宏
3	中小企業へのプロモーションの仕方(中小企業診断士の目線から)	福田　和彦

◆産業交流展 2019への出展

・2019 年 11 月 13 日(水)～11 月 15 日(金)　場所:東京ビッグサイト　青海展示棟
(Aホール:機械・金属エリア(機械-126))

・出展社プレゼンテーションの実施(奥田広報委員長)。テーマ:経営課題・技術課題の解決を支援

・PEIT 展示ブースへの集客のため、ポスター・チラシ等の貼付、映像による説明等を実施。

・展示物搬入搬出・ポスター・チラシ等の配布、展示事業者への訪問ヒアリングの実施等。
協力者(順不同):二宮、平野、進藤、山戸、武田、山根、奥田、山本肇、伊藤、志澤、片桐、山下、安藤、小佐野

・実施事項:出展事業者を訪問し PEIT を PR。状況を「出展企業様ヒアリングノート(大野提案)」に記録、今回は60事業者を訪問し記録した。今後の事業者と PEIT との協業関係構築の種とする。

◆外部セミナーの開催:実施できなかった。

＜次年度計画＞

◆勉強会の開催

・SIG 合同連絡会議の後半時間に勉強会を開催する。令和元年度と同様。

◆産業交流展 2020 への出展

・令和2年 11 月 11 日(水)～13 日(金)に開催予定。場所:東京ビッグサイト。
昨年同様の参加を検討する。

・今回も昨年同様に、出展事業者を訪問し PEIT 業務を PR する。訪問事業者については「出展企業様ヒアリングノート」に記録、事業者と PEIT のウイン・ウインの協業等の種を探すこととする。

◆外部セミナーの開催企画

・外部向けセミナー開催を引き続き検討する。

企画委員会	(委員長)伊藤俊彦　　(副委員長)佐藤儀一　(委員)熊田成人

＜本年度活動報告＞

◆中期事業計画及び活動計画に基づき活動の活性化を推進。

・顧客や外部連携先に東京技術士会の人財及び専門・経験を紹介のため会員紹介刷新し発行

・東京技術士会の持続的発展のために新 SIG 発足支援(SEEI, IoTG)

・認定支援機関活用 WG で検討の上、更新実施及びパンフレット作成(認定支援、中小企業海外支援)

・顧客連携のマーケッティング強化のために“ものづくりドットコム”法人会員化及び連携開始

・運営委員会及び SIG 連絡会へのビデオ会議導入を開始し、参加会員拡大及び新型ウイルス下活用中

◆令和2年度中期事業計画及び活動計画を策定した。

＜次年度計画＞

◆令和2年度中期事業計画及び活動計画の着実な推進・進捗状況把握と活性化改善策の提案及び支援する。運営委員会での定期的な報告とPDCA視点で活動活性化を推進する。

◆東京技術士会の持続的発展へ向けて目標達成のための活動活性化支援を推進する。

・持続的な事業展開を各SIGが推進できるように企画事業部門としての支援策を検討推進する。
・顧客や連携先のコミュニケーション活性化を図り、タイムリーな情報発信、情報共有を図る。
・認定支援機関としての活動を継続活発化し東京技術士会としての事例を拡大する。
・運営委員会やSIG連絡会を含めたオンライン会議やWeb勉強会等で会員参加向上を図る。
・会員のCPD継続研鑽啓発と登録支援及び研鑽機会（勉強会、討論会、等）を推進する。
・公的機関やパートナー連携での東京技術士会の持続的ビジネスモデルを企画検討する。

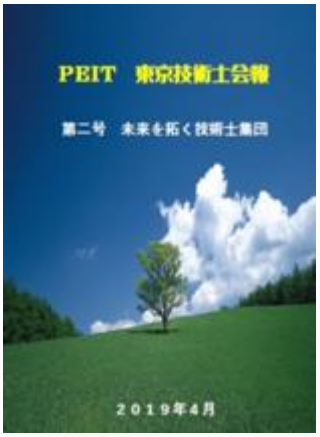
広報委員会	（委員長） 奥田孝之　（副委員長） 片上裕紀　（委員）

＜本年度活動報告＞

◆会誌第二号の発行

東京技術士会の会誌第二号は中綴じ8ページ構成とし、内容を巻頭言、技術論文2編、技術解説1編とした。内容は次の通りである。

巻頭言「10周年記念式典を開催しました」（二宮会長）
技術論文「新時代の工場『ミニマルファブ』」（二川会員）
技術論文「プライバシーマーク取得の意義と秘訣」（平泉会員）
技術解説「特許を取得する意味と意義」（深澤会員）



東京技術士会報 第2号
（2019年4月）

◆展示会における広報活動（プレゼンテーション）

東京ビッグサイト青海展示棟で開催された産業交流展期間中、Bホールサブステージにおいて、令和元年11月13日(木) 16:00より、東京技術士会の出展者プレゼンテーションを行った。タイトルは『10周年を迎えた東京技術士会』であった。

11月13日（水）		
出展者	時間	タイトル
株式会社計算力学研究センター	11:00-11:15	目指せ！スポーツ競技でのメダル獲得
株式会社ゼロイン	11:30-11:45	欧米旅行客のハートを掴む外国人目線のインバウンドマーケティング
株式会社EXIDEA	12:30-12:45	3年でCV件数が4倍に！オウンドメディアを成功させる米国最先端のSEOコンテンツマーケティングとは？
株式会社BAN-ZI	13:00-13:15	新時代のサビ止めについて～水性錆転換塗料・サビキラープロ～
株式会社JobRainbow	13:30-13:45	会社を本当に強くする！次世代の職場環境とは？LGBTダイバーシティノウハウ
双葉化学株式会社	14:00-14:15	フライヤーあるところに濾過器あり！テスト導入者が手放せなくなる訳・濾過器とは？
ピュアポリウレア工業研究会 関東支部	14:30-14:45	ピュアポリウレア（100年コーティング）
札幌施設管理 株式会社	15:00-15:15	『ＳＰＴ配管診断』とは
株式会社アイエスゲート	15:30-15:45	医療における言葉のバリアフリー社会の実現に向けて
一般社団法人東京技術士会	16:00-16:15	１０周年を迎えた東京技術士会
アイティーエムクリエイト株式会社	16:30-16:45	幼稚園、保育園、教育機関向けクラウドコミュニティー「コナビ」の紹介

◆インターネットを通じた広報の推進

勉強会の講演の講演者にFacebook原稿を依頼し、順次掲載した。
2029年度は、5回の講演情報と5回の広報委員会記事提供を行った。
公開日、タイトル、講演者、リーチ数は次の通りである。執筆は原則として各講演者としている。

No	タイトル	講演者	リーチ数	投稿日	備考
1	金属組織分析と事例紹介	福﨑 昌宏	198	2020/4/3	
2	カーナビ地図の現状と今後	山戸 佐知男	163	2019/5/1	
3	磁気テープ技術を中心としたストレージ装置の開発	前嶋 満	157	2019/8/15	
4	人生の後半を面白く楽しく過ごすための55歳から始める開業準備	大柳 規幸	153	2019/12/15	
5	製品事故は何故なくならないのか	川上 忠宏	119	2020/4/11	

No	タイトル	執筆者	リーチ数	投稿日	備考
1	設立10周年記念式典	広報委員会	162	2019/2/27	
2	東京技術士会忘年会	広報委員会	144	2020/1/4	
3	産業交流展	広報委員会	116	2019/11/12	
4	産業交流展	広報委員会	114	2019/11/15	
5	ZOOM併用会議	広報委員会	106	2020/3/27	

令和元年度は執筆者から執筆拒絶が多かったため、掲載数が少ないことは残念である。
公開可能なテーマが少なかったであった。

◆パンフレットの作成

産業交流展の時期にパンフレットを2種作成した。

＊中小企業の海外展開支援パンフレット

海外進出支援センターにより中南米、アメリカ、東南アジアに製造工場の海外展開等を図る企業を支援するための広報パフレットである。

＊認定支援機関パンフレット

東京技術士会が認定経営革新等支援機関であること、経営状態を把握し、経営計画を策定する支援を行い、経営計画の遂行のモニタリングやフォローアップまで支援することを広報するパンフレットである。

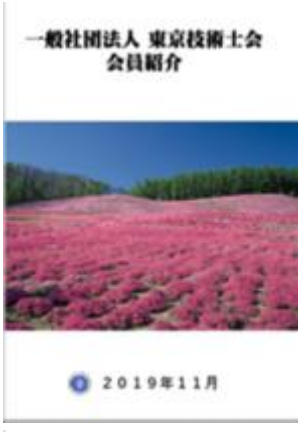
＊顔入りパンフレットの更新

会員紹介パンフレット（通称「顔入りパンフレット」）の更新を図った。

前回（平成 28 年 11 月）の掲載会員数は 47 名であったが、今回は 61 名の会員を掲載できた。

また、記事は統一したスタイルの紹介記事とした。

前回は 6 ページ構成であったが、今回は 10 ページ構成となった。



＜新年度計画＞　広報委員会

令和2年度は、次の企画を計画する。

(1)パンフレットの発刊による広報活動

そのほか、委員会や会員からの要望に基づき、臨時パンフレットを作成する。

(2)インターネットによる広報活動

Facebook 東京技術士会に東京技術士会公式行事の告知、SIG合同会議勉強会、展示会等の情報をタイムリーに掲載する。

(3)技術士・技術士会を広報する動画製作

技術士・技術士会を広く知ってもらう媒体として、動画制作は有効と考える。

コストはかかるが、展示会、ホームページ掲載など活用の機会は広い。

予算確保面で、了解を得られていないが、できるだけ実現したい。

(4)会報の継続発行による広報活動

会報第三号、第四号の発刊を目指す。

技術士にふさわしい技術的なレベルを維持しつつ、分かりやすく、客先の信頼を得ることに役立つ資料を目指す。また技術論文だけでなく、分かりやすい一般記事も加える。

HP委員会	(委員長)木村　稔（委　員)面来周一

1. ホーム更新
 ・第 22 回産業交流展2019出展などを掲載、その後設立 10 周年、平成 30 年度情報セキュリティ監査企業台帳継続登録、中小企業国際展開アドバイザーを委嘱などと共に過去の実績に掲載を移行
2. 会社ご案内
 ・SIGの追加に伴う運営の東京技術士会業務実施組織図の更新など
3. SIG＆サービスメニュー
 ・セミナー企画センター、エネルギー・効率改善支援グループ、IoT グループを追加
4. 各種支援メニュー
 ・更新は特に無し
5. 公開している資料
 ・平成 30 年度事業報告書を追加
6. お問合せ
 ・更新は特に無し
7. 入会ご案内
 ・更新は特に無し
8. 会員のページ
 ・規程類一覧表・管理台帳の規定（定款第6版、同抜粋）を追加
 ・議事録等追加：第11回定時総会議事録、R1年度臨時総会議事録、R1年度中期事業計画書、R1年度事業計画書・予算計画書・事業報告書・決算報告書、第65回～第69回臨時理事会議事録、第115回～第126回運営委員会議事録、第108回～第119回SIG合同連絡会議議事録
 ・会員名簿等更新：会員名簿、・役員会、委員会名簿、【SIG】登録メンバー一覧、・メーリングリスト一覧
 ・勉強会資料集追加：山戸、前嶋、江藤、平岡、大野、山本、大柳、山根、川上、福崎の各会員
 ・年間主要日程更新
 ・SIG資料リストに各SIGを追加
7. メーリングリスト／メールアドレス更新：会員、役員、委員会、SIG
8. 新入会員への案内通知
9. 毎月のHP更新内容をメール通知

＜次年度計画＞
・ホームページへの掲載依頼の促進
・活躍技術士ご紹介ページへの未掲載会員の登録促進
・SIG＆サービスメニューページへの後日記入SIGへの登録促進
・公開している資料ページへの東京技術士会報など掲載内容の充実
・会員のページへの議事録、会員名簿、勉強会資料などの確実な更新と充実
・その他PEITのWebサイト各ページの確実な更新
・メーリングリスト／メールアドレスの速やかな更新

1．2 各SIGの活動報告

令和元年度各SIG活動計画・予算及び活動実績・売上高/実績人件費・経費

令和元(2019)年度各SIG活動実績　2020.5.9

SIG 名 (略称: リーダー名)		活動内容の要約
中小企業支援センター (SSC: ○武田)	計画	①公的機関につなげる東京都中小企業振興公社、工団連、東京商工会議所、中小機構;PR とニーズ調査 ②展示会活用:顧客説明チラシ・ポスター ③SSC 活動の協力強化(資料・情報・参画)
	実績	①公的機関 PR とニーズ調査(経営革新等支援機関交流会参加および工団連など) ②産業交流展で顧客説明(チラシ・ポスター展示等(11 月)) ③認定支援機関 WG(7-11 月会議)
公的事業協力センター (HSC: ○奥田)	計画	①案件情報の収集(ただし他SIGの活動範囲を除く)と客先対応活動 ②案件受注時は受託先との連絡、会員との連絡調整を行う。 ③審査員募集案内文と配布、受付、名簿等の作成。人数制限のある時は調整事務 ④業務推進に伴うトラブル対応 ⑤完了後の管理費入金督促と集計、問い合わせ ⑥上記に関連した業務
	実績	①案件情報の収集(ただし他SIGの活動範囲を除く)と客先対応活動 ②案件受注時は受託先との連絡、会員との連絡調整を行った。 ③審査員募集案内文と配布、受付、名簿等の作成。人数制限のある時は調整事務を行う。 ④業務推進に伴うトラブル対応を行った。 ⑤完了後の管理費入金督促と集計、問い合わせに対応した。 ⑥上記に関連した業務
知的資産経営支援センター(IAMS: ○深澤)	計画	①　事業性評価と結びつけて公的機関や金融機関との連携を模索する。 ②　ビジネスモデルの再構築。
	実績	西武信用金庫様に対して連携の可能性を出ししたものの、事業性評価は診断士が担当しており参入は難しいことがわかった。TAMA 協会様は今年度経営デザインシートに取り組んでいたが、補助金事業であり、次年度の継続性は不明であった。
物流効率化支援センター (LSC: ○安藤)	計画	①認定支援機関に係る情報収集および関東経済産業局のマネジメントメンター制度等を通して、ミラサポの専門家派遣の業務を発掘 ②東京都および東京電子自治体の物流関連業務を含む案件の入札に参加 ③外部団体と連携して事業領域を拡大
	実績	①　②に対応した活動は無し。 代わりに3月に経産省の福島県久居12都市における物資流通ロジスティック最適化企画調査事業、及び8月に国交省の物流システムや資機材の標準化等の実現に向けた官民アクションプラン策定事業に応募するもいずれも失注活動実績なし
官公需情報センター (KIC: ○二宮)	計画	①　都環境局窓口対応業務は(株)中央開発社が失注したので受注企業から受託を狙うが現時点未定。 ②　水道局 ISO 関連は引き続き受託を狙う ③　自治体工事監査は多摩地区自治体からの引き合いも増えてきているので引き続き対応 ④　JICA 案件受託を目指す ⑤　品川区都のコラボレーションに期待 ⑥　東京都公募案件への積極的参画を目指す

	実績	①、③、⑤
ICT 活用支援センター（ICTC：○木村稔）	計画	①情報セキュリティ監査企業台帳登録と東京都各局セキュリティ監査業務の受託 ②マイナンバー対応支援メニューによる受注活動 ③中小企業規模別 ICT 活用支援メニューによる受注活動
	実績	①情報セキュリティ監査企業台帳登録は制度廃止により登録無し、東京都各局セキュリティ監査業務の受託は出来ず。 ②マイナンバー対応支援メニューによる受注活動は実績なし。 ③中小企業規模別 ICT 活用支援メニューによる受注活動は実績なし。
海外進出支援センター（OSC：○二宮）	計画	① JICA/国交省国際セミナー ② 日本ベース社顧問継続 ③ JICA 案件の調達
	実績	②
こども理科クラブ（CSC：永田）	計画	① プログラミング教室準備 2020 年から初等教育で必須となる このための教材を準備する ② プログラミング教室開催 試行的に有料での教室を開催する・
	実績	①準備中 ②未実施
技術調査センター（TIC：○片上）	計画	①東京都の各自治体の工事監査の受注活動 ②東京都内の区役所関連の監査の入札価格決定に必要な情報入手を強化。
	実績	市 3 件、区 2 件受注
技術評価センター（TEC：○平野）	計画	①東京都産業労働局創業支援課調査業務を受託すべく活動する．（受託のための準備活動を行う） ②JST等の調査業務等を受託すべく活動する． ③福島プロジェクト
	実績	
表面処理技術研究会（SPTG：○平野）	計画	①セミナ等を計画する（日刊工業新聞と連携を進める）
	実績	
農業支援センター（ASC：○平野）	計画	①パソナの状況によるため，現体制を維持する（特に変更等を行わない）
	実績	
環境問題研究クラブ（EIRC：○佐藤）	計画	① 都環境局窓口対応業については中央開発(株)が失注したため、受注したユーロフィン日本環境(株)に受託を働きかける。 ② 担当者は佐藤、佐伯、江藤、中村、山下氏
	実績	受注したユーロフィン日本環境(株)に受託を働きかけたが、受託出来なかった。
中小企業支援プログラム	計画	H30 年度より SSC に統合。

(TSP: ○武田)	実績	
アーカイブス (ARC: ○平野)	計画	①東京技術士会会員の要望により複数案件の出版を進める. ②2件の出版を行う(東京技術士会ライブラリシリーズ).
	実績	
セミナー企画センター(SEMI: 小佐野)	計画	① 外部セミナーを開催し、事業者の目標達成・事業発展・事業継続等を支援し、地域経済の発展に寄与する。併せて PEIT 知名度向上を指向する。 ﾒﾝﾊﾞｰ:小佐野、熊田、志澤、二宮、 渡辺(芳)(50 音順)
	実績	① セミナーの実施はできなかった。
ISO 構築・改善支援センター(ISOC: 志澤)	計画	マネジメントシステムの構築、改善について支援を希望する組織の支援を行う。 【ﾒﾝﾊﾞｰ】:志澤、西宮、平泉、滝沢、熊田、竹田、片桐、二川、新井田、山戸
	実績	東京都水道局浄水部、多摩水道改革本部、ジャパンセンサーの支援を実施。また、8 月に品川区のカタリストで品質管理に関するセミナーを実施。
報告書照査センター(RVC: 杉山正)	計画	JICA 受託業務を作成した SIG の報告書の照査を行い、瑕疵の発生を防ぐ ﾒﾝﾊﾞｰ:杉山、二宮、永嶋、他都度専門家が参加する。
	実績	照査すべき受託業務無し。
エネルギー・効率改善支援グループ (SEEI: 高宮)	計画	①目標とする対象:H31 年度省エネ相談地域 PF 構築事業の採択。 ②支援期間:2019/6～約 9 か月間 ② 参加会員:7 名予定
	実績	①中小企業支援実績達成率:91.5% ②支援期間 :2019/06/03～2020/02/07 ③当会専門家 7 名で対応
IoT グループ (IOTG: ○伊藤)	計画	①IoT SIG の設立と目的・活動方針の策定 ②ソリューション・パートナーへのコンサルティングで中小企業へのコンタクト強化 ③IoT コンサルマニュアルの作成開始
	実績	①1／22の PEIT 運営委員会、理事会で承認 ②日立ハイテクコンサルへのマーケッティングコンサルを契約。展開中。 ③定例 WS で勉強会開催
合計	計画	令和元(2019)年度各SIGの合計(計画)
	実績	令和元(2019)年度各SIGの合計(計実績)

1．3 その他

実施した主な事業及び新規事業案件を示す.

▸東京都環境局 委託業務

「東京都環境局の都庁における対応業務」は中央開発(株)が失注したため令和元年度は実施無し.
令和2年度は受注元からの受託の働きかけと他の自治体への調査を進める.

▸ものづくり助成金評価業務

多数の助成金採択件数として実績を残した「ものづくり助成金」について，その技術評価業務を実施しました．本件は評価件数として極めて多くの件数であり，東京技術士会として組織対応において効果的であったものと考える．本件は継続的に実施している．

▸技術監査業務

主に東京都各市等の業務（技術）監査を受託し，監査業務を実施した。次年度も東京都内の各自治体の工事監査受注活動を継続する．